

ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業について

青森県 高齢福祉保険課

野辺地町活性化キャラクター
じ〜の



青森県のケアプランデータ連携システム導入状況

青森県

5.1%
(106事業所/2073事業所)
※2024年5月6日時点 WAM NET掲載事業所数

国の支援施策を活用しながら普及施策に取り組んでいきたい

国の施策の活用

介護現場デジタル改革パッケージ ケアプランデータ連携活用促進モデル地域づくり事業

補助上限850万円

【対象経費(抜粋)】

- 介護ソフト、PCなどの連携システムの利用に必要な機器など
- ケアプランデータ連携システムの活用に係る研修

介護現場デジタル改革パッケージ
ケアプランデータ連携活用促進モデル地域づくり事業

【対象経費】

- 介護ソフト、PC等の連携システムの利用に必要な機器等
- ケアプランデータ連携システムの活用に係る研修
- 業務コンサルタントの活用
- タイムスタディ調査、ヒアリング調査等
- 好事例集の作成



補助上限額…1モデルあたり850万円（1都道府県で5モデル）

- モデル地域の規模は、市町村内に1～2カ所程度を想定。
- モデル地域内に構築される事業所グループは数十～百程度の事業所グループとなることを想定。
- 事業所グループの構築は以下の方法が想定される。
 - ・ 都道府県または市区町村が公募して参加事業所を募集する。
 - ・ 管内の事業者団体等に推薦やグループの構築を依頼する。
- 市区町村がモデル地域の運用主体になることも想定。（都道府県が運営経費として市区町村に対して補助金を交付することも可能）

5

青森県から管内市区町村に意向を確認し、
手が拳がった野辺地町にて計画

野辺地町の取り組み(予定) ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業

ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業

目的

全国的に介護現場の人材確保が課題となっている中、特に小規模法人を中心に、従来の方法では必要な人材確保が難しい事業所も多く、経営効率の悪化といった悪循環を招いている。

町では、情報共有の業務効率化を図るケアプランデータ連携に関して、専任の支援職員による伴走型支援を行うことで、併せてチームケアの向上、介護サービスの質の向上について地域全体で取り組むことを目指す。

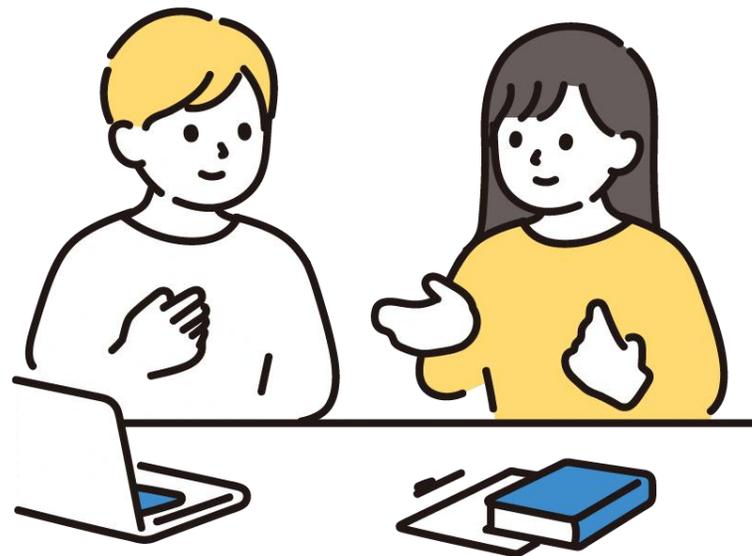


野辺地町の取り組み(予定)

ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業

特長

- ①支援員による伴走型支援
- ②事業所訪問も含めた随時の相談支援体制
- ③すべての介護支援事業所および居宅介護サービス事業所の参加を目指す
- ④参集型の検討会や評価会を開催する



野辺地町の取り組み(予定)

ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業

実施方法

1 実態把握

居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所を対象に実態調査アンケートを実施。
・利用者数 ・共有方法・共有事務に係る時間、経費・共有事務に関する課題等

2 事業周知・申込

事業説明会で周知し協力事業所を募る。（インセンティブを検討中）

3 システム連携支援

経験豊富な専任支援員を配置し、研修サポート機関等を活用しながらシステム運営を支援。
・導入支援・定期巡回・相談対応等

4 事業評価

実施期間の評価項目をまとめ、事業所への報告会を開催。

野辺地町の取り組み(予定)

ケアプランデータ連携 よりそい安心サポート事業

スケジュール

	R6.							R7.	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	...	2月	3月
野辺地町	実態把握	準備	予算確定	説明会	導入支援	巡回支援		事業評価	実績報告
居宅事業所	アンケート			申込	導入	システム利用		報告	報告会

今後の展望

- 青森県では、介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進めることにより、職員の業務負担軽減を図るとともに、生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、介護サービスの質の向上にも繋げていく介護現場の生産性向上を推進しており、ケアプランデータ連携システムの導入はこれに資すると考えています。

A O M O R I P R E F E C T U R A L G O V E R N M E N T



青森県

三内丸山遺跡